

図書館だより 7月号

徳島北高等学校図書委員会

「高校生の夏に！」

もうすぐ夏休み。夏休みといえば、読書感想文！読書感想文用の一冊は選びましたか。また、小論文対策に役立つ評論も多数揃っています。夏休みのこの時期こそ、じっくりと本と向き合ってみましょう。

夏休み特別貸出について

7月8日(月)～8月28日(水)に借りる場合、
一人10冊まで借りることができます。

◎延滞本がある人は、まず至急返却してください。

8月9日(金)までに借りた本の

返却日は8月29日(木) 始業式

ぜひ、たくさん借りてください。

前期読書会(北高ビブリオバトル)結果

6月17日(月)放課後、1・2年の図書委員と有志によるビブリオバトルが開催されました。

☆第1位 『サムシングブルー』 飛鳥井千砂 著

その他、『世界から猫が消えたなら』 川村元気 著

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』 汐見夏衛 著

『メモの魔力』 前田裕二 著

『君はレフティ』 額賀滯 著

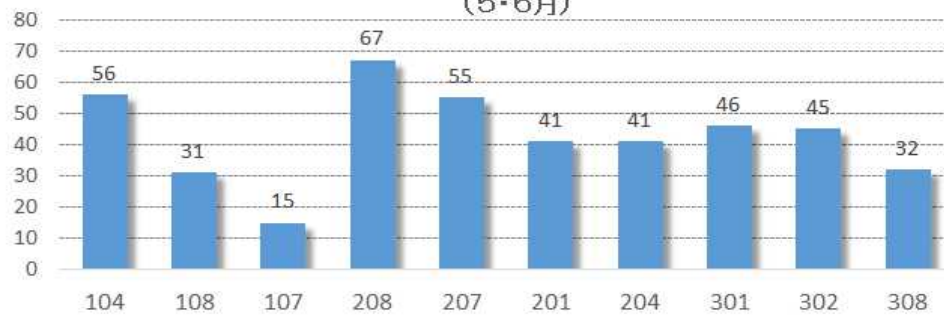
『君の臍臓をたべたい』・『青くて痛くて脆い』 住野よる 著

『この問題、とけますか?』 吉田敬一 著

などの面白さが、図書委員によって熱く語られました。



学年別クラス別貸出冊数BEST3
(5・6月)



図書委員のおすすめ本

(みなさんも読んでみてください。)

『そして、バトンは渡された』 瀬尾まいこ 著

201HR 岡田 達樹

この物語は家族の成長の物語ではない。「家族」という外枠が変わってしまうことはあるが、その中で変わらないことを描いた物語だ。父・母・妹という言葉がとけてしまうような信頼のかたち。未来へバトンを渡そうとする想いを持つことの幸福に包まれる。

2019年本屋大賞受賞作品です。

『加藤清正(上巻・下巻)』 海音寺潮五郎 著

201HR 谷 尚貴

この本は、一言で言うと「伝記」です。豊臣秀吉の家臣である加藤清正の一生が詳しく書かれているので、歴史好きの人にはたまらないでしょう。とても古い小説なので、現代では伝わりにくい表現もありますが、読んでみる価値はあると思います。

『さよならクリームソーダ』 額賀 滯 著

202HR 榎本 妃南

皆さんは、家族とは何だと思いませんか。

今回、私がお薦めする本は、額賀滯さんの『さよならクリームソーダ』です。このお話は、ある男子高校生が一人の女子高生に出会い、家族について向き合っていくお話です。

家族以上に家族のような存在に出会ってしまった時、ある日いきなり、他人が家族になってしまった時、この本はその答えを教えてください。

最後まで読んだ時、きっと題名に涙し、心が温くなるお話です。リアルな涙が胸に刺さる傑作青春小説を是非読んでみてください。

今年の課題図書を紹介しておきます。(図書室に揃っています)

○『この川のむこうに君がいる』 濱野京子 著

震災後、新たな地で高校生活を始めた梨乃の16歳の心の軌跡。

○『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ：あなたがくれた憎しみ』

アンジー・トーマス 作・服部理佳 訳

白人警官が無抵抗の黒人少年を射殺。真実が歪められる中、目撃者の女子高生が立ち上がる。

○『ヒマラヤに学校をつくる：カネなしコネなしの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦』 吉岡大祐 著

貧困のネパールで、ゼロから学校づくりに挑んだ若者と子どもたちの感動の記録。